

ありま



令和6年10月30日

学校だより11月号

川崎市立有馬小学校

令和6年度学校教育目標スローガン

『 一歩前へ 受け止め聴き出し つなごう有馬 』

有馬小学校 53回目の誕生日 おめでとう

校長 本田 明子

秋風が心地よいさわやかな季節になってきました。外遊びをするのにはちょうど良い季節です。校庭では、子供たちが、ボール遊びやおにごっこ、遊具で思いっきり体を動かしています。『読む読むタイム（朝読書の時間）』では、各教室で静かな雰囲気の中、本を読み進めています。秋を感じるこのいい季節。スポーツや読書に、学習にと精を出してほしいと思います。

11月4日（金）は本校の53回目の開校記念日です。有馬小学校は、同じ宮前区にある宮崎小学校から有馬分教室として始まりました。分教室はプレハブ校舎のため、夏は暑く、冬の寒さが非常に厳しくて、新しい校舎の完成を皆が心待ちにしていたそうです。そして、昭和47年4月川崎市立有馬小学校が誕生。新校舎ができた7月にプレハブ校舎から新校舎へと引っ越しをしました。保護者、学校職員と一緒に子供たちみんなでプレハブ校舎からいすなどを運んで大変だったそうです。

…校庭が広い、校舎がきれいな有馬小学校には行ってよかったと思います。教室の黒板は二つ、エレベーターもあるので、まるでデパートみたいです。…

【当時の2年生の作文より抜粋】

…学校への道路が大型車の侵入不可能であり、リヤカーも引き上げ困難な上り坂ときているので、まさに最高の悪条件を克服しなければならず、職員も手伝いの父母の方々もまるで戦争下のような悲壮な作業に汗を流しました。…

【開校記念誌「有馬のあゆみ」から】

～自然教室（5年生）・修学旅行（6年生）～

明日から5年生はハケ岳に出発します。また、6年生も日光修学旅行（13日～14日）にでかけます。子供たちには、友達との宿泊行事を通して、家庭を離れて平素と異なる生活環境の中で見聞を広め、公共の場での社会的マナーを守りつつ、楽しむところは楽しみながら、仲間づくり、楽しい思い出作りをしてほしいと思います。

～学校からのお願い～

ずいぶん日暮れが早まりました。学校では帰りの会が終わり次第速やかに下校するように指導しています。校庭開放を利用したり、友達と遊びに出かけたりすることもあると思いますので、暗くなる前に帰宅することや不審な人物に遭遇した場合の対応について、ご家庭でもお子様とお話ください。

○教育相談窓口：相談窓口担当は、支援教育コーディネーターの松本彩子総括教諭です

○学校巡回カウンセラー来校日：相談ご希望の方は、電話でお申し込みください。

（担当：支援教育 CO 松本 有馬小学校 866-1447）